

(2) 本県が取り組むべき課題

時代の潮流を捉えるとともに、本県の「いま」を概観することで見えてきたポイントを踏まえ、本県が取り組むべき課題を以下の6つに整理しました。

課題 1 人口減少による負のスパイラルの克服

将来の本県を考える上で最も重要な課題は人口減少問題です。自然減と社会減が同時に進行し、急激な人口減少局面を迎えています。また、人口減少による様々な負の影響が顕在化しています。

県、市町村、企業、県民などが連携・協働を強化し、人口減少による負のスパイラルを断ち切り、好循環へと反転させていく取り組みを進めていく必要があります。

課題 2 本県経済と雇用を支える基幹産業の発展

近年、機械電子産業など本県経済を牽引する基幹産業において、企業の県外撤退等による事業所数の減少が続き、それに伴い県内における雇用機会が失われています。

本県経済の発展と安定的な雇用を確保していくため、基幹産業を維持発展するとともに、新分野への進出等により裾野の拡大を図り、グローバル化や景気変動の影響を受けづらい足腰の強い産業構造への転換を進めていく必要があります。

課題 3 地域資源を生かした個性豊かな産業の創出

これまで地域を支えてきた農林業や地場産業においては、生産額が伸び悩む状況にあります。また、成長が見られる観光産業についても観光客が特定の圏域に集中している傾向が見られます。

活力ある地域づくりを進めるためには、豊富な地域資源を生かすとともに、産業間の連携を図ることにより、地域としての魅力を高め、個性豊かで儲かる地域産業を創出していく必要があります。

課題 4 明日のやまなしを担う子ども・子育て支援の充実

若年女性は減少しており、出産・子育てや仕事との両立に対して不安を持っています。併せて核家族化も進展する中、かつてのような家庭における子育てや教育が難しくなっています。

そのような中で、将来のやまなしを担う人材をしっかりと確保・育成していくため、子どもと子育てを産業界や地域など社会全体で支える環境の充実を図っていく必要があります。



課題 5 生涯にわたり健康で生き生きと暮らせる地域づくり

超高齢社会を迎え、増加する認知症への対応を含め、いくつになっても住み慣れた地域で暮らせる体制の整備が急がれます。また、県民の健康を守る医療についても、全国との比較で依然として医師が不足し、更に、地域や診療科によっては偏在が見られる状況にあります。

誰もが住みたい、訪れたいと思えるやまなしを創造していくためには、医療・福祉・介護の提供体制の充実を図るとともに、本県の良好な環境を保全することにより、生涯にわたり健康で生き生きと暮らせる地域づくりを進めていく必要があります。

課題 6 地域の暮らしと企業活動を守り、交流を促進する基盤づくり

本県は四方を山々に囲まれている地形から、県内外を結ぶ交通網の整備と将来にわたる適切な維持管理が重要となります。また、近年大規模自然災害などが頻発しており、今後の災害発生への備えとして交通やエネルギーなど社会インフラの確保が求められています。

平常時のみならず災害発生時にも地域の暮らしや企業活動を守るため、安全安心を担保し、交流を促進する基盤づくりを進めていく必要があります。

これら6つの課題に加え、全体に共通する行財政運営についての課題を以下に示します。

効率的かつ効果的な行財政運営の推進

本県の財政は中長期的に厳しい状況が続くことが予想されます。また、国・地方を通じた財政健全化の中で、地方自治体における行財政運営の一層の効率化が求められています。

人口減少への対応をはじめとする上記の6つの課題に対応し、必要な施策を着実に実行していくためには、将来にわたり持続可能な財政運営を確保しながら、限られた財源と人材を最大限に活用し、効率的で効果的な行政運営に取り組んでいく必要があります。